

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	シュメール語動詞túmに於ける場所名詞句の格標示について
Author(s)	峯, 正志
Citation	ニダバ, 18 : 33 - 43
Issue Date	1989-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00047199
Right	
Relation	



シュメール語動詞 *túm* に於ける場所名詞句の格標示について

峯 正 志

1 はじめに

シュメール語の動詞 *túm* 〈運ぶ〉は、その意味的性質上、〈運び先〉を示す名詞を伴うことがある。その際、その名詞は、

- i) locative suffix-aを接辞される
- ii) terminative⁽¹⁾ suffix-*šè*を接辞される

のいずれかの形で現れる。⁽²⁾ 例示しよう。

1) DP163⁽³⁾

- V 2) 1 1/4 (*gur-sag-gal*) *dabin* 3) *en-ig-gal* 4) *nu-bànda*
5) *NINA* ^{kⁱ}-*na* 6) *ba-túm*

「1/4 グルサッガルの大麦粉。ヌバンダ職のエニッガルがニナ地区へ運んでいった。」

2) DP164

- II 2) 5 *nigin kaš-KAL*… (中略) … 6) *ezem-ab-è-ka* 7) *lagaš* ^{kⁱ}-*šè*
8) *ba-túm*

「5 ニギンの強精 (?) ビール。… (中略) … *ab-è*祭の時に、ラガシュへ運んでいった。」

本稿では、この2つの格がいかなる基準によって使い分けられているか、換言すればどの様な意味的環境の中でterminative (以下、term.とする) / locative (以下、loc.とする) が選択されるのか、という問題を考察する。⁽⁴⁾

2. term./loc.の機能

まず、term./loc.のそれぞれの「場所」を表わす格としての基本的な機能について明らかにしておこう。⁽⁵⁾

term.は〈運動の方向〉を示す格である。

3) DP218

- I 7) *ensí* 8) *é-mí-šè* 9) *e-gen-na-a*

「エンシが后宫へ行った時に、」

これに対して、loc.は〈動作・状態の存在する場所〉を示す格である。

4) DP218

I 10) é-muḫaldim-ma II 1) ba-šag₅

「厨房で、(羊が)殺された。」

5) Nik278

I 1) 12 si<-u>-nu-sag 2) é-ku₆-ka 3) e-gál-am₆

「12匹のタコ。魚の倉庫にあったものである。」

またloc.は、〈～の内部において〉という、inessiveの機能の外に〈～の内部へ〉という、illativeの機能も持っており、その点、例えばドイツ語のinなどに類似していると言える。

このterm./loc.の基本的な機能を基礎に考えれば、次の様な仮説を立てることは容易であろう。つまり、「〈方向性〉に重点を置いた表現の場合にterm.が現われ、〈場所性〉に重点を置いた場合にloc.が現れる、というものである。

しかし、問題は、一見よく似た環境であるにも関わらず、ある場所はterm.が、別な場合にはloc.が現われているという事実である。これを上の仮説に従って、「この場合は〈方向性〉に重点があり、この場合は〈場所性〉に重点があるのだ。」と割り切って考えるのは、あまりにも主観的であるように思われる。

そこで以下の章でterm./loc.の選択に関わる客観的な意味的環境を分析し記述してみたいと思う。

3. term./loc.の選択に関与する意味的特徴

言うまでもなく、term./loc.の選択は格語尾の接辞される名詞と目的語その他を含めた述語の間の意味的關係によって決定される。⁽⁶⁾従って以下では、

1) 名詞句の意味的特徴

2) 述語の意味的特徴

の順に検討してゆくことにする。述語の意味的特徴といっても、ここでは動詞túmのみを扱うのであるから、目的語やその他の斜格名詞句、文脈等の検討によって述語全体の意味を捉えることが必要であろう。

3. 1 名詞句の意味的特徴

まず用例を分類、列挙してみよう。⁽⁷⁾

i) é-gal (宮殿)

loc. ... DP82 ; 84 ; 164 ; 166 ; 210 ; 211 ; 296 ; 319 ; Fø18 ; Fø21 ; 166 ; Nik146 ; 271

RTC44 ; 20 ; 21 ; TSA3 ; 4 ; 45 ; ITTV, 9229

- term. ...DP49 ; 169 ; 343 ; 416 ; Fö48 ; 94
- ii) é-mí 《后宫》
 loc. ...DP81 ; 90 ; 163 ; 279 ; 284 ; 290 ; 291 ; 297 ; 319 ; 378 ; Fö108 ; 134 ; Nik168
 172 ; 269 ; RTC30 ; 36 ; TSA43
 term. ...DP146 ; 168 ; 312
- iii) ganun 《倉庫》
 loc. ...Fö107(ganun-na) ; DP365(ganun-gi-^dmes-an-du-ka) ; Nik283 ; 284(ganun-giš-kin-ti-ka) ; DP351 ; 364 ; 369 ; 411 ; 414 ; 432 ; 433 ; 443(ganun-^dmes-an-du-ka)
 DP360 ; Nik290 ; (ganun-SAR-ka) ; Nik277(ganun-PAP. PAP-ka) ; DP415 ; 418(ganun-ú-ka) ; DP415(ganun-nam-dumu-^dba-ú-ka-dù-a)
 term. ...DP367(ganun-SAR-šè) ; DP487(ganun-giš-kin-ti-sè)
 ゼロ ...DP440 ; Fö44(ganun-giš-kin-ti) ; DP366 ; 368(ganun-^dmes-an-du)
- iv) é-níg-ga-ra 《倉庫》
 loc. ...DP108 ; 163 ; 268 ; 269 ; 271 ; 299 ; 300 ; 316 ; 322 ; 327 ; 384 ; Fö24 ; 25 ; 64
 112 ; Nik144 ; 274 ; TSA41 ; 48 ; BIN8. 380
- v) é-zà-uru-ka 《町の前の倉庫》
 loc. ...DP349 ; 350 ; 352 ; 353 ; 354 ; 355 ; 356 ; 357 ; 358 ; 361 ; 439 ; Fö154 ;
 Westenholz Or. 44/3 (1975) , 2.
- vi) gán 《畠》
 term. ...Fö *85 ; 167 (gán-da-sal₄-šè) ; TSA38 (gán-da-tir-ta-ma-ka-šè) ; Fö133
 (gán-gibil-tur-šè) ; Fö33 ; 85 ; 87 ; TSA38 (gán-gír-gír-mab-šè) ; Nik78
 (gán-gír-gír-tur-šè) ; Nik74 ; 75 ; (gán-NIGÍN-na-šè) ; Fö16 ; 87 (gán-šag₅-ga-tur-šè) ; Nik74 (gán-tur-gú-edin-na-ka-šè) ; Fö133 ; BIN8. 369
 (gán-ù-gig-ga-šè) ; Nik74 (gán-en-né-gù-ba-dé-gán-ù-gig-bi-da-šè)
 ゼロ ...Nik65 (gán-du₇-nu-tuk)
- vii) ki-mí 《王妃のki》
 term. ...DP302 ; 312 ; 318 ; 319 ; 478
- viii) é-ki-sal₄-la 《ki-sal₄-la倉庫》
 loc. ...DP325 ; 326 ; 379 ; 386 ; 388 ; 390 ; 391 ; 393 ; 397 ; 423 ; 427 ; 429 ; 430 ; 444 ;
 Fö139 ; 140 ; Nik280 ; 288 ; 289
 term. ...DP425 ; Fö56 ; SollbergerXXVI (1948) , 3
- ix) ki-a-nag 《みそぎ場》
 term. ...RTC60 ; M. W. G. Schileico, RA11, p. 61 (ki-a-nag-šè) ; Nik161 (ki-a-nag-ensí-ka-šè)
 ゼロ ...DP59 (ki-a-nag)

x) é-ùr-ra 《倉庫》

loc. …Fö18 ; 143 ; RTC37 (é-ùr-ra-ka) ; RTC35 ; DP89 ; 323 ; Fö104 ; 165 (é-ùr-ra-émí-ka) ; DP308 (é-ùr-ku₆-ka) ; TSA46 (é-ùr-ra-é-ur-tur-ka-ka) ; DP301(é-ùr-ra-níg-sa-ku₆-ka)

xi) é-é-bar-^dbíl-aga_x-mes-šè-dù-a

ゼロ…DP286 ; 287 ; Fö18 ; 124 ; Nik266

xii) 地名、地区名

loc…DP41 (lagaš^{ki}-sa) ; Nik277 (lagaš^{ki}-a) ; DP131 ; DP163 ; 164 (NINA^{ki}-na) ; RTC59 (URUXKĀR^{ki}-ba)

term. …Nik85 (elam-šè) ; DP436 (gír-su^{ki}-šè) ; DP164 ; 167 (lagaš^{ki}-šè) ; DP167 Fö19 (NINA^{ki}-šè) ; RTC25 (umma^{ki}-šè) ; Nik270 ; PSBA27. P. 76 (uru-kù-šè)

ゼロ…DP431 ; 277 ; Fö16 ; 178 ; TSA26 (gír-su^{ki})

xiii) その他

loc. …Nik278 (é-a) ; Fö155 (é-NI-ka) ; DP163 (é-engur (?) -a) ; DP328;Nik288 (é-ma-nu-ka) ; DP449 (bād-a) ; DP94 (èš-a) ; DP437 (NI. UL-a) ; DP213 (é-^dnin-MAR. kl-ka-ka) ; DP437 (im-nun-zā-ga-ka) ; DP388 (SAR-é-ku₄-ka)

term. …Nik25(ki-gú-šè) ; Fö133(ki-sum-ma-gán-ù-gig-ka-šè) ; DP437(á-níg-e₁₁-ka-šè) ; DP163(ti-ra-áš-šè) ; Nik162(é-muḫaldim-šè) ; DP169(gá-udu-ur₄-šè) ; Nik284(tu₁₈-SAR-šè) ; A. Riftin, Die altsumerische Wirtschaftstexte, 3

以上の諸例から次の事実が確認できる。

①gán《畝》はterm.をとる。

②倉庫はloc.をとる。又はlocをとる傾向が非常に強い。

③é-gal《宮殿》、é-mí《后宮》は概ねloc.時にterm.をとる。

④地名・地区名はloc. term. 共にとる。

これらの事実より次のことが言える。

term./loc.の選択は、自由変異によるものではなく、その名詞句の意味によってある程度予測されること。そして、大きくわけて建造物にloc.が、そうでないものにterm.が現われる傾向があること。特に、同じ建造物でも倉庫類にloc.がより現われやすいということである。

図示すれば：

倉庫類 > 宮殿・后殿 > 畝

の順でloc.が現われ易いということになる。これは、loc.の機能が基本的にinessiveであるということと考え合わせると次の様に解釈できるのではないだろうか。つまり、左側の名詞ほど話者にその〈内部〉を強く意識させるのではないかということである。四方を

壁で囲まれた建造物とそうでない畠とでは、前者の方が〈内部〉を意識し易い様に思われる。〔8〕畠にも境界はあるが、建造物ほど顕著ではない。また、宮殿・后宫といった建造物と倉庫では、同じ建造物であるにしても、その使用目的が異っており、いわば〈内部〉に閉じ込めて保管する倉庫の方がより〈内部〉を意識させ易いように思われる。

地名・地区名に関しては、loc./term. が同様に現われている。地名というものは境界が畠以上に抽象的であり、本来最も〈内部〉を意識させにくいものと思われるが、〔9〕その意味的性質上、かなりの〈広がり〉を感じさせるものであり、その結果loc.の例がかなり見られるのかも知れない。しかし早急な結論は危険であろう。地名については3. 2. 3でもう一度触れる。

もう一つ興味深い事実は、ki-mí〈王妃のki〉が、一応、建造物であると思われるのにも関わらず、常にterm.で現われる、ということである。

6) DP319

III 5) 3 pisan gu₄^{k''6}-gir-ús

IV 1) é-gal-la 2) ki-mí-šè 3) ba-túm

「3カゴのGU₄^{k''6}-gir-ús。宮殿に、ki-míに運ばれた。」

この例では宮殿がloc.で現われている状況の中でもki-míはterm.で現われている。速断は出来ないけれども、シュメール人がこの語を「后宫の(いる)場所」として抽象的に捉えていた可能性があるかも知れない。

3. 2. 述語の意味的特徴

3. 1で名詞句の意味的特徴による使いわけの傾向を見たけれども、もちろんこれだけでloc./term.の選択が決定されるわけではない。むしろ、述語の意味的特徴の方がより重要であるとも思われる。例えば、同じ名詞であっても、

a. He stayed in London. 〈内部〉〔10〕

b. Our plane refuelled at London. 〈地点〉

の如く、行為の種類によってその名詞の捉え方が異なってしまうからである。

そこで以下では、loc./term.の選択に関っているとされる述語の意味的特徴をいくつか挙げてみよう。

3. 2. 1. 「搬入」と「移入」

通常loc.で現われる筈の倉庫がterm.で現われている例のいくつかは容易に説明される。それは、同一文中にablative名詞句が現われている場合である。これはterm.の用いられる典型的な状況の一つである。シュメール語で〈～から～まで〉という表現の場合、〈～まで〉に当たる名詞句には必ずterm.を用いる。

7) F656

I 1) 30 ^{si}ù-sub_s-gal-gal 2) é-zà-uru-ka-ta 3) é-ki-sal₄-la-šè

II 1) en-ig-gal 2) nu-bànda 3) mu-túm

「30本の大きい縦の木。町の前の倉庫からki-sal₄-la倉庫へ、ヌバンダのエニッガルが運んだ。」

8) DP343

II 2) é-é-bára-ga-ta 3) en-ig-gal

III 1) nu-bànda 2) šag_s-šag_s 3) dam-uru-KA-gi-na 4) lugal-
5) lagaš^{ki}-ka-ra

IV 1) é-gal-šè 2) e-na-túm

「é-é-bára-ga からヌバンダのエニッガルが、ラガシュの王、ウルカグナの妻、シャグシャグのために、宮殿へ運んだ。」

9) Nik284

II 1) 1 (?) giš-sumun 2) SAR-é-ku₄-ta 3) tu_{1a}-SAR-šè 4) dam-AN-mu
5) mu-túm

「1本の古木。エクの果樹園からtu_{1a}-SARへダムアンムが運んできた。」

〈運び先〉が倉庫である記録の多くは、「持参されてきた品物を、責任者が倉庫に収めた」という形式をとっており、その場合のtúmは、いわば、品物の「搬入」行為であるといえる。一方、上例の様に、ablative名詞とterminative名詞が共起している記録は、むしろ品物を移動させた点に視点があり、その場合のtúmは品物の「移入」行為であるといえよう。

次の例では、同一文中にablative名詞は現われていない。

10) DP487

I 1) 60×3+6 ^{si}eme 2) ur-sag 3) nagar-ré-ne
4) ganun-giš-kin-ti-šè 5) mu-ne-túm

「186本の^{si}eme。ウルサグが大工達のために手工業者の倉庫に運んだ。」

しかし、この泥章は、最終コラムに、

^{si}eme-zi-zi-ga/é-zà-uru-ka-ka/mu-gál-la-am₆

「支出された^{si}eme。町の前の倉庫に保管してあったものである。」

という注記があり、同一文中ではないけれどもその文脈中に「移動」に於ける起点が明示されている。10) と他のganunの例を比較すると、他の例は、文脈上「移動」の起点が明らかでなかったり、起点は明らかでも、品物が持参されたものであったりして、Agentが品物を移動させたというよりも、運ばれてきたものを単にganunに「搬入」したという記録ばかりである。

従って、10) は、他のganunの諸例と異なり、文脈上倉庫への「搬入」というよりも「移入」として捉えられた表現であると見做すことが出来よう。それ故loc.でなくterm.が選

扱されたものと思われる。⁽¹¹⁾

3. 2. 2 Ventive

次に、特定の動詞接頭辞が term./loc. の選択に関わっていると思われる例がある。それは、Ventive接頭辞 e-ma- と term. との結びつきである。

12) DP436

VII 1) 2 ¹³má-lá 2) gír-su-šè 3) <e>-ma-túm

「…2艘の筏。ギルス地区へ運んできた。」

13) DP416

II 1) SAR-ur-dul-ta 2) en-šu 3) agrig-ge 4) na e-ma-ri 5) é-gal-šè

III 1) e-ma-túm

「(材木を) ウルドゥルの果樹園からアグリグ職のエンシュが切ってきた。宮殿へ運んできた。」

14) DP312

III 2) 10 ba 3) é-mí-šè 4) nu-bànda 5) e-ma-túm

「…10匹の亀。后宮へヌバンダが運んできた。」

15) DP367

I 3) 40 sa ma-nu 4) 2-kam-ma

II 1) túm-a-am_o 2) en-ig-gal 3) nu-bànda 4) SAR-é-ku₄-ta 5) e-ta-gar

III 1) ganun-SAR-šè 2) e-ma-túm

「40束のマヌ草。二度目に運ばれたものである。ヌバンダのエニッガルが、エクの果樹園から出した。果樹園の倉庫へ運んだ。」

12) は地区名の例であるから、後説する様に term. がある程度予期されるけれども、13) 14) 15) に関しては loc. が予期され易い名詞句であることから、この ventive prefix と term. の結びつきは偶然とは考えにくい。特に15) の ganun に関しては、term. と結びつく例がこの例を除くとわずか一例のみであり、この例に於ける term. の使用は、この Ventive の使用によるものと考えても誤りではない様に思われる。

Ventiveの文法機能は、吉川(1974)⁽¹²⁾によれば、「話者への方向性を持って動的に捉える。」ということである。もし Ventive接頭辞 e-ma- が、動詞 túmに於いて loc. よりも term. と共起しやすいということが事実であるなら、これは、「動的に捉える」という吉川の仮説を裏付ける根拠の一つになると思われる。

3. 2. 3. 地名、地区名

ここでは地名、地区名に於ける term./loc. の選択の問題を扱う。この場合、一見無秩序に見えるけれども、明らかな使いわけが存在している様に思われる。

まず、一般的には term. で現われるというところと言えるであろう。例えば次の例は代表的なものである。

16) Nik85

I 1) 60×4 + 30 še gur-sag-gál 2) níg-šám-síg-kam 3) ur-é-mùš

4) gal-dam-gâr-ensí-ka-ke₄

II 1) en-u₄-da-na 2) dam-gâr-é-mí-ra 3) e-na-sum 4) elam^k-šè

3) e-na-sum 4) elam^k-šè

III 1) ba-túm

「270グルサッガルの大麥。羊毛の代金である。エンシ所属の商人長、ウルエムシニが、后宮所属の商人エンウダナに与えた。エラムに運ばれた。」

RTC25 (umma^k-šè) ; Fö19; DP167(NINA^k-šè),

DP167(lagaš^k-šè)Nik270, PSBA27. p76-77(uru-kù-šè)

も同様に term. の例である。

次の例は loc. が現われているが、これは、次の様な類似した文脈を持つ泥章に限られている。

17) RTC59

II 5) maš-da-ri-a 6) sig₄-ki

III 1) sanga-^dnanše 2) ezem-^dlugal-URUXKÁR^k-ka-ka 3) DU. DU 4) sanga

5) URUXKÁR^k-ba 6) mu-na-túm III

「マシニダリア奉納物。ナンシエ神のサンが僧、シグキが、ルガルURUXKÁR神の祭の時に、サンガ僧のDU, DUのためにURUXKÁR^kに運んだ。」

同趣の例としてはDP41(lagaš^k-sa~mu-na-túm)DP131(NINA^k-na~e-na-túm)がある。

また〈運び先〉が宮殿・后宮・神殿の例としては、

i) é-gal-la~mu-na-túm

DP82, 84, 210, 211, Nik146, RTC44

ii) é-mi-a~mu-na-túm

DP81, 90, Nik168, 172

iii) é-^dnin-MAR, kl-ka-ka~mu-na-túm

DP213

この種の泥章においては、〈運び先〉はすべて loc. で現わされており、今のところその理由は分明でないけれども、loc. で表現することが好まれる特別なニュアンスが加わっているものと推測される。⁽¹³⁾

loc. が現われるもう一つの文脈は、次の例の様に、〈運び先〉の名詞が二つ現われており、一方の名詞が他方の名詞の〈部分〉の関係になっている場合である。

18) DP164

I 1) 5 nigín kaš-KAL... (中略) ...

5) ezem-munu₄-kú- 6) ⁴nanše-ka

7) NINA^{kⁱ}-na 8) é-gal-la

II 1) ba-túm

「5ニギンの強精(?)ビール。…(中略)…ナンシェの麦芽を食う祭の時に、ニナ地区に、宮殿に運んだ。」

同趣の例としてはNik277, (ganun-PAP, PAP-ka lagaš^{kⁱ}-a), Nik294(NINA^{kⁱ}-na èš-gibil (!)-⁴nanše-ka)。

この様な例の場合、例えば英語における

The bird flew into the bush in the yard. ⁽¹⁴⁾

「鳥が庭で藪の中に飛び込んだ。」

に於けるin the yardの様な動きを、地名の名詞句は持っている可能性があるが、速断は出来ない。

4. 結語

以上の考察をまとめてみよう。本稿では、動詞túmに於ける〈運び先〉を示す名詞句の格標示が、いかなる意味的特徴の下でloc./term.として現われるかという問題を、i) 名詞句の意味的特徴、ii) 述語の意味的特徴の二つの側面から分析してきた。

まず、名詞句の意味的特徴については、倉庫>宮殿、后宮>畠の順でloc.が現われ易いという事実を指摘し、これはシュメール語のloc.の持つinessive性と関連がある可能性を指摘した。

次に、述語の意味的特徴については、①同じ「倉庫に運ぶ」という表現でも、そのtúmが、文脈上「搬入」行為として用いられている場合にはloc.、「移入」行為として用いられている場合にはterm.が現れる。② Ventive suffix e-maはterm.と共に起し易い。これは、Ventiveの文法機能を確定するための一つの資料となり得る。Ventiveの文法機能に関する「話者への方向性を持って動的に捉える」という仮説は、この事実と合致する。③地名がterm.でなくloc.で表現されるのは、i) maš-da-ri-a記録、ii) 〈運び先〉を表す名詞句が二つ使用され、それらの意味的關係が〈全体〉、〈部分〉である場合、の二つの文脈において見られる、という三点を指摘した。尤も、問題の性質上、あるいは用例数の関係から、これらの条件下で必ずこの様な格標示がなされると断定することは難しいかも知れないが、この様な強い傾向があることは明らかであろう。

最後に、考察の途中で、ki-míの語義の問題や、maš-da-ri-aの記録に於けるloc.で現われた地区名の問題など、いろいろ興味深い問題が出てきたけれども、これらはこれからの課題としたい。

注

- ① A. Falkenstein, M. L. Thomsen 等による名称。他に directive (E. Sollberger, V. Christian), allative等の名称もある。ここでterminativeを用いたのは単なる便宜上の問題であり、筆者が特に、他の名称に比べてこの名称が秀れていると考えてるわけではない。
- ② -φとして現われる場合もある。しかし、それらは書記による単なる省略表現とみた方が良いと思われる。
- ③ 本稿で用いる略号は次の通り。

DP=A. de la Fuÿe, Documents présargoniques, Paris, 1908-1920

Fö=W. Förtsch, Altbabylonische Wirtschaftstexte aus der Zeit

Lugalanda's und Urukagina's, Leipzig, 1916

Nik=M. V. Nikol'skij, Dokumenty chozjajstvennoj otčetnosti

drevnejšej epochi chaldei iz sobranija N. P. Lichačeva, 1908

RTC=F. Thureau-Dangin, Recueil des tablettes chaldéennes. Paris, 1903

TSA=H. de Genouillac, Tablettes sumériennes archaïques, Paris, 1909

その他の略語については、

R, Borger, Handbuch der Keilschriftliteratur I, II, Berlin, 1967-1975

参照のこと。

- ④ 本稿で対象とするシュメール語は、初期王朝期 (B. C. 2700~2350) のもので、資料としてはギルス地区出土の行政経済文書である。
- ⑤ シュメール語にはterm./loc.の他に、locative-terminativeと呼ばれる場所を示す格があり、これら三者がいかなる体系をなすか、は重要な問題であるが、túm《運ぶ》に於いて現われることはないので、本稿では採りあげない。
- ⑥ 例えば、安藤貞雄『統。英語教師の文法研究』大修館書店 (1985) P. 172以下参照
- ⑦ 紙数の都合でコラム数、行数は省く。泥章一つに複数例を含む場合もあり得る。
- ⑧ これに関して、小規模ながら筆者は次の様な調査を行った。「()の中に運んだ。」という文の()に「広島」「町」「部屋」「ほら穴」「倉庫」「島」「学校」の語を入れた七種類のカードを作り、被験者に文の許容度の順に並べてもらった。許容度の高い順に1. 2. 3...と点数をつけ、平均点を採ったところ、次の様な結果を得た。(被験者数は23人) : 1) 部屋 (1.9) 2) 倉庫 (2.0) 3) ほら穴 (3.5) 4) 学校 (4.3) 5) 島 (4.7) 6) 町 (5.0) 7) 広島 (6.7)

この結果は、筆者の推測をある程度客観的に裏付けてくれるものではなかろうか。

- ⑨ 筆者の調査でも、地名である「広島」は許容度が最も低かった。

⑩ 例文は安藤ibid. p. 159より引用。

⑪ DP425

II 3) gán-da-gír-ga-ta 4) i-túm ... (中略) ...

III 5) é-ki-sal₄-la-šè 6) ba-túm VII

「da-gír-ga 島から運んだ。… (中略) …ki-sal₄-la 倉庫へ運んだ。」

この例も、ここに加えて良いかも知れない。

⑫ 吉川守、Neo-Babylonian Grammatical Textsに於ける文法術語šushurtumとRiätumの研究。『広大文学部紀要』特集号3. 1974年3月p.120

⑬ ただし、Sollberger, Geneva XXVI (1948) 3. VII, 8) maš-da-ri-a 9) ezem-⁴ba-ú-ka
VII 1) DU, DU 2) sanga 3) é-ki-sal₄-la-šè 4) mu-na-túm

「マシュダリア奉納物。パウの祭りの時に、サンガ僧のDU, DUのために、ki-sal₄-la 倉庫に運んだ。」

この例においては、term. が現われている。他の諸例と異なる点は、〈運び先〉が倉庫であるということである。

⑭ 例文と訳文は、安井稔編『[例解] 現代英文法辞典』、大修館書店(1987). p. 340によった。